



2022年6月1日からの  
国会請願国賠署名、同盟員拡大到達表 2023.2.28 現在

支 部	国賠署名		同盟拡大	
	目 標	到 達	目 標	到 達
岡 山	7,000	2,204	200	230
備 南	2,500	428	80	51
美 作	800	440	50	34
玉 野	700	22	20	20
県 計	10,000	3,094	350	335

命、暮らしを破壊する大軍拡を許すな！  
今こそ、治安維持法犠牲者の志し生かす政治実現を！

岡山県版  
No. 323  
2023年3月15日  
治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟  
岡山県本部  
〒710-0131  
倉敷市天城台  
4-7-12 福井方  
振替01300-4-99361  
mail: family-fukui@  
khf.biglobe.ne.jp

国会請願「国賠署名」  
岡山支部は昨年実績を  
上回りました

岡山支部 河井伸士

岡山支部は今年になって1月7日の「田村智子」演説会で138筆、2月は昨年、加入した日さんが105筆の署名を集め、9人の会員は身の周りの人に署名を訴え、1月は229筆、2月は242筆を昨年6月から今、2309筆の個人署名を集め、昨年の国会請願時の2256筆を上回っています。国会請願は5月17日に決まりました。3月、4

アメリカ海兵隊は日本原に来るな！  
アメリカへ帰れ！

美作支部 中西 孝

自衛隊日本原演習場で、岩国に駐留しているアメリカ海兵隊の単独訓練（5回目）が行われることになり、「米海兵隊単独・共同訓練に反対する真北住民の会」は、関連自治体に訓練中止を求めるよう申し入れたり、現地での抗議スタンディング行動を準備しています。今回の単独訓練は



2月17日 高梁駅・図書館前  
スタンディング宣伝

月とステップ、ジャンプで目標達成に奮闘します。

・期間は 三月一三日～二日とこれまでより短期間。  
・来るのは 第三九戦闘補給部隊で今回が初めて  
・ヘリコプター、オスプレイは飛ばさない  
・となつています。

抗議スタンディング行動は  
・三月二日（日）  
午前十一時～一二時  
勝北支所前交差点

治安維持法同盟美作支部は同盟員のみならず、不屈美作版2・16号で抗議行動への参加を呼び掛けています。

# 玉野支部総会に参加して

県本部会長 河井伸士

二月七日、治安維持法国賠同盟玉野支部の総会に初めて参加しました。

一年間の活動報告と今年の方針、活動計画が提案されました。

「新しい戦前」が危惧される大軍拡は暮らし、命を危機に迫ります。コロナ対策は無為無策、医療崩壊を目のあたりにします。一発五億円のトマホークミサイルを米国から四〇〇発買うとい

う。保身と政権延命ためにアメリカ、財界言いなりで「新しい戦前」に突き進む岸田政権。今「再び戦争と暗黒政治許すな」のスローガンが心に響きます。

治安維持法国賠同盟の活動前進の意義が確認された総会でした。参加者は一四名で「高齢化だが頑張って次世代に運動をつなげよう」と議論されました。

# 「兵庫県 没九〇年多喜二講演会」に神戸を訪ねて

倉敷市 小山和正

神戸は私が六〇年前、日本共産党に入党した街である。

今年「小林多喜二没九〇年」「戦争か平和か」が問われ、タモリが「新しい戦前」と語ったことが国民の中に広がっている気がする。啄木が苦悶した「時代の閉塞感」と語った時と同じ状況か？  
今、国民は敏感に嗅ぎ取っているのでは。

神戸に六〇年前の面影はなかった。

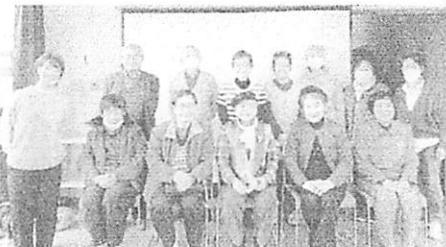
参院議員だった板野勝次さんとともに一九二六年、神戸の共産党組織の創始者にもうひとり、岡山市出身の人がいた。板野勝次が著した「風雪に耐えた歳月」に登場する二〇歳代のTさん。

このTさんは後に「ハンセン病」を発症して長島愛生園に隔離、収

女性部  
だより

# 第二一回女性部総会

女性部事務局長 池上尚美



二月二日、女性部の第二一回女性部総会を開きました。参加者は一六名。議案審議をして活動のまとめ、会計と次年度の活動方針

を全員一致で決めました。

第二部では島津泰子さんの「エスペラントと蟹工船」の講演です。ザメンホフの発表した国際共通語 エスペラントは「世界平和と人類みな兄弟」を理念としています。エスペラントに出会った島津さんは二年後から二〇年がかりで「蟹工船」の翻訳に取り組み、二〇一七年に着手、二〇一九年二月一五日に出版されました。

今の危うい世界と日本の情勢にどう立ち向かっていくかを学ぶこと、運動につなげることを訴えられました。

とても有意義な総会になったと思います。

容された。その後、Tさんは園内でも活動していたらしい。私は六〇年代末から七〇年代に、党の常任活動家として長島愛生園の党支部と長く付き合った。愛生園には大きく強い原則的な党があった。入所者の大衆的な支持を得ていた。Tさんはすでに鬼籍に入っていたのか。それとも、どこかで私とあっていたのか。今となっては気になっている。

第21回女性部総会

2023年2月12日(日)  
13時30分~15時30分

岡山医療生協コムコム別館



治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 岡山県本部女性部

## 「兵庫県 小林多喜二没九〇年記念講演会」に参加

県本部 福井正樹



ビューを「一九二八年三月五日」とし、拓殖銀行に勤め、「蟹工船」「不在地主」を書き、第一回普通選挙での労農党「山懸」の選挙活動、小樽の労働運動、磯野農場争議などの実践活動にふみだした。科学的社会主義理論の学習に励み、「資本論」を読んでいるのはその時期。

二月一九日、開催された講演会。「兵庫多喜二・百合子の会」会長の濱本鶴男さんが講演した。濱本鶴男さんは神戸三菱造船に定年まで勤め、六〇歳で中央大学法学部を通信教育で卒業。卒論テーマは「大企業の社会的責任」。実直な物言いに好感が持てた。

小林多喜二が逮捕された一九三三年二月は九月に上海反戦大会に呼応して東京で反戦世界大会を計画していた時期だった。多喜二は反帝同盟執行委員だった。虐殺された日のことを最後の書記長、谷川巖が回想している。

小林多喜二は自らの作家デ

多喜二は理不尽に虐げられる女性や弱い、貧しい人々に優しい。ジェンダー平等の先駆的な視点から周辺にいた女性たちの活動を描く「工場細胞」「オルグ」そして「党生活者」。「新女性気質・安子」は都新聞に連載されていた。「蟹工船」「不在地主」は「天皇制権力」と「軍隊・資本家・大地主」の国民支配の構造、「中国侵略戦争の本質」をつかみ、告発していることに驚愕する。また、野呂栄太郎達の「日本資本主義発達史講座」を学び、明治維新を的確にとらえ、島崎藤村の「夜明け前」を批評している。藤村は「文学報

## 小林多喜二没九十年 文学の集い

### 「民主文学」主催「能島龍二さんの講演」

「多喜二文学は戦争とどう向き合ったか」「戦争の本質」を多喜二の作品は見事に描き、「一九二八年三月一日」は天皇制権力の暴力、非人間性を描き、「田口たぎ」をみつめ、女性が理不尽に虐げられることへの怒り、社会と政治の

をみつめ、女性が理不尽に虐げられることへの怒り、社会と政治の

小林多喜二の文学的業績は大きい。

国会」の会長となり、東条内閣の「戦陣訓」のもとを書いている。

小林多喜二が拷問死した時、共産党中央のアジトは杉並にあり、通夜に「わけありの3人」から香典が届く。「戦旗」の編集長、上野壯夫は近所に住み、多喜二の「遺体」を迎える。通夜の席には奈義町出身の小坂多喜子、倉敷出身の岡本唐貴がいた。小林多喜二の作品は今も通用する優れたオルガナイザー。とても一九二〇年代の「絶対主義的天皇制」暗黒の時代に書かれたものとは思えない。今、そのまま学ぶべきものと感じ入った。多喜二の業績は大きい。

「山本周五郎」「島崎藤村」「菊池寛」への「多喜二」の評価は的確。特に「島崎藤村」は「戦陣訓」を書いたことは知りませんでした。二四歳から二九歳でこれだけの小説を書いたというのはすごい事です。「多喜二はもっと生きたかったです。もっと書きたかった」という思いが伝わりました。五年間の濃密な活動と権力によって断ち切られた命の重みを思わずにはおれません。

全体を描く科学的理論の深さに改めて驚愕しました。九〇年前と今が重なる講演でした。井上百合子さんの「蟹工船」の朗読に胸が熱くなりました。日刊「赤旗」に連載中の「立春大吉」の作者、浅尾大輔さんに好感をもちました。古い因習と閉鎖的な地域で「党の旗」を立てて奮闘した黨員の戦中、戦後の闘い、受け継ぐ若い女性議員の頑張りや織り交ぜた展開は大変、リアルで新鮮です。

### 治安維持法下の闘い

## 永遠なる青春をおくった女性

― 棧敷ジョセフィンよしこ ―

― その3 ―

社会科学研究会との出会い

女学校を卒業したよし子は公費生の義務として小樽にあったローズ保育園の保母として働いた。園児の叔母になる人から「娘の英語をみてほしい」と頼まれ、夏休みの間、英語を教えた。その子の英語の成績上がり、大きな信頼を得た。

家庭教師を務めながらよし子は日本女子大にすんだ。日本女子大でよし子は社会科学研究会に入り、科学的なものの方を学ぶ。宗教的人道主義からの脱皮を始めたといえるだろうか。

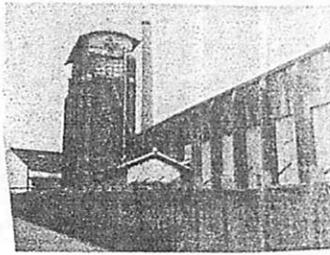
四年生の時、よし子は「女子および、一六歳未満の少年の深夜労働並びに坑内作業撤廃」の要請署名行動を始め、警察に呼び出されて始末書を書かされた。

「このような弾圧が私の中に眠る『反骨精神』をかきたてた」と後に語る。よし子の大学入学の保証人は父、新松の親友の深井英五日銀総裁だった。後に深井の紹介で倉敷紡

績に入社する。父、新松が深井英五と深い信頼関係をもったのはお互いの「人柄」なのか。出会いの不思議さ、幸運を感じる。

倉敷紡績で女工たちの教育係に一九二八年の春、よし子は「寄宿舎強化係」として倉敷紡績に採用され、女工たちの中に入っていく。

よし子を迎えた人事課長は大原孫三郎社長への賞賛から始めた。



― 利益の大半を社会に返そうとしている美し奇特な方。やがて自慢話に発展する。次に寄宿舎や教育係の仕事について説明した。よし子は冷静に聞いていた。課長は「さあ、食堂へ行ってみましよう。女士さんたちがいつせいに食事に来ますよ。」

二人用の食卓が一〇〇以上ならんだ食堂。明るく広くきれいだ。おかずは一人一皿でご飯と漬物はいくらでも食べることができる。次々と女工さんが入ってくる。食卓に着いたかと思えば、みんな五分か一〇分で大急ぎに食べ、立っていく。女工さんたちは綿埃の掃除や糸くずのことが気になってゆっくりと食事ができないのだ。その姿をよし子は冷静に観察した。

万寿工場の女子寄宿舎は大原孫三郎社長自慢の「自治制」を採用していた。一棟の寄宿舎に二〇名ずつが入る。この中から二人の「主婦」が選ばれる。「主婦」は「自修寮」に入って特別訓練を受ける。この「主婦」が寄宿舎自治の中核として寮生たちの世話をする。

この主婦たちの教育をするのがよし子に与えられた仕事だった。

その教育内容は読み書き、そろばん、家事、料理、作法などの会社が決めた科目である。

しかし、よし子はこれとは別に、週二回「常識講座」というものを入れていた。よし子はここで「資本主義のからくり」をわかりやすく解説

し初歩的な「階級意識」を育てるところに力を注いだ。また、月に一回は「倉敷労働科学研究所」の暉（てる）峻（おか）義等所長を招いて「労働と疲労」「健康」「結核予防」などの講義をしてもらった。（続）

「抵抗の証言 三集」『永遠なる青春をおくった女性』一坪井あき子

## 2月

### 事務局日誌

- 3日 玉野市スタンディング
- 4日 倉敷演説会
- 7日 玉野支部総会
- 8日 県本部役員会
- 9日 「不屈」発送作業  
美作支部役員会
- 11日 民主主義文学会「多喜二講演会」
- 13日 岡山支部役員会
- 14日 女性部総会「エスペラン  
トと蟹工船」島津泰子
- 15日 「不屈」美作版発行
- 18日 玉野市スタンディング
- 19日 兵庫「多喜二講演会」
- 20日 岡山支部役員会
- 26日 「すます伸子」事務所びらき